

隼人族の森を渡る風

創造の現場から 第31回

森の彫刻家 上 床 利 秋

溝辺の大地にキツネは生きている

杉アトリエのお隣さんが草刈りをしているときに、キツネらしき動物を見かけたという。

二年前、実は私も茶畑を見た。痩せたつぼい四つ足の動物がそれに似ていたので、その話を素直に信じる事ができた。

でも、証拠がない。

鹿児島県ではなかなか見かけることのないキツネ発見の話題だったので、次に情報が集まってこのお題で書ける機会は遠い将来になるだろうと期待していなかったら、なんと翌日には助手の丸田多賀美さんが見たという。

遠くでこちらを見つめる「キツネ」の写真を撮ることに成功したとLINEで情報が舞い込んだ。ついに写真撮影成功である。確かにしつぽが長い。

でも、この写真、何やら怪しい雪男の写真みたいで、小さくしか映っていない分、解像度が荒く説得力が弱い。

しかし私には野狐が元気でいることが分かっただけで充分だった。

ところが、ところが。

数日後、軽トラックで夜の8時ごろ杉アトリエ近くを運転中、小動物が飛

び込んできたのである。

「やっぱっ!! 轆いたかな?!

ラッキーにも小動物は前照灯に照らされて元気に走り抜け、こちらを振り返って立ち止まった。

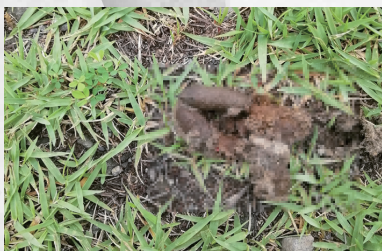
ライトのついていない車を不思議そうに見ているその生き物はまさしく絵で見る子ぎつねそのものだった。

どつやう、杉アトリエ近くにキツネが棲みついているのは間違いないようだ。

そしてまた後日、キツネを見かけた。道路のわだちをクワで修復していたら、今度はそれらしき動物のフンを発見。(写真参照) ちょうどその日の夕暮れ時、アトリエから帰ろうと車の前照灯をつけて走っていたら、フンのそばで再び遭遇。今度はドライブレコーダーでしっかりと動画として捕らえることができた。

最近、タヌキやイノシシをよく見かけるが、自然が濃くなってきたのだろうか。今年もまたアカシヨウビンが渡り来て、夏の訪れを告げた。

日展会員 第一幼児教育短期大学 教授



長さ約5cm。キツネのフンらしきもの



道路の修復途中でできたミズを探していたキツネを捕らえた動画から。
6月4日19時40分



同じアトリエ近くの道路でイノシシと遭遇
6月12日19時10分

レモン画材絵画教室 **ご案内**

- 隔週水曜日 10:00～ 油絵・水彩教室
- 隔週土曜日 16:00～ 油絵・水彩 教室
- 隔週日曜日 16:00～ デッサン
- 隔週土曜日 ①10:00～ 子供絵画教室
②13:30～
- 月1回第2木曜 10:00～ 和紙ちぎり絵教室

★ingミニセミナー(POP文字・筆文字・絵手紙など)チラシ等で随時ご案内致します。

お申し込みは TEL 0995-45-1015 国分進行堂・レモン画材まで

ホームページ刷新しました。

<https://douzou.jp/>

上床利秋

検索

このページのバックナンバーも読むことができます。